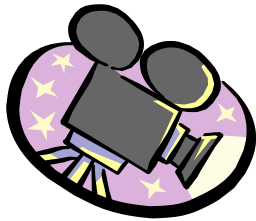


社会福祉法人 はるかぜ福祉会

はるかぜ通信



No.63
ナイスショット!!

編集・発行 障害福祉サービス事業所 はるかぜ

発行日 平成27年3月20日

〒816-0849 福岡県春日市星見ヶ丘一丁目8番地

TEL : 092-595-3179 FAX:092-595-3174

E-mail : info@swc-harukaze.or.jp



第27回 福岡ふうせんバレーボール大会 出場！！



3がつ 8にち にち ふくおかしりつ みなみたくいっかん かいさい だい27かい ふくおか ばれーぼーる たいかい さんか
 3月8日（日）福岡市立南体育館 で開催された 第27回福岡ふうせんバレーボール大会に参加い
 たしました。生活介護の利用者の皆さんは、昨年に続き2回目の 出場。就労Bの利用者の方がたは
 はじめて しゅつじょう たいかい さんか めざして1ねんかん しょくいん いっしょ れんしゅう かさねて
 初めての 出場です。この大会への参加を目指して1年間、職員も一緒に練習を重ねてきました。
 10じ かいかいしき ちーむ そろい せんしゅ ねんれい こども こうれい かつ はばひろく
 10時の開会式には27チームが揃い、選手のみさんの年齢も子どもから高齢の方までと幅広く、
 「風船バレーは、どのような方でも楽しめるスポーツです」と、大会実行委員長のお話でした。
 せいかつかいごち ーむ みなさん さくねん けいけん おちつ いてきょうぎ のぞまれ けっしょう せん
 はるかぜ生活介護チームの皆さんは、昨年の経験もあってか落ち着いて競技に臨まれ、決勝リーグ戦
 すすむ いっぽう しゅうろう みなさん すこしきんちょうぎみ ようす こーとない
 に進むことができました！ 一方、就労Bチームの皆さんは少し緊張気味の様子でしたが、コート内で
 おとさない おたがい こえ じょうず ばす まわし さいど げんき
 はふうせんを落とさないように、お互いに声をかけあい上手にパスを回し、サイドからはとても元気に
 せいえん ざんねん よせんはいたい がんばりました
 声援をおくりました。が・・・残念ながら予選敗退。（みんなよく頑張りました）
 こーと なか ひとり ひょうじょう いんしやうてき しょうはい
 コートの中の一人ひとりがいきいきとした表情をされていたのがとても印象的でした。勝敗はと
 りやうしゃ しょくいん おうえん かけつけて ごかぞく かつがた きもち ひとつ
 もかくとして、利用者のみさん、職員、応援に駆け付けてくださったご家族の方々と気持ちを一つに
 ひとつ たいけん ゆういぎ たいかいさんか
 できたこと、そして、また一ついい体験ができて、とても有意義な大会参加となりました。

活動報告 その1 車輛がそろいました！ありがとうございました。

1. 日本財団から……

利用者の皆さんの送り迎えや日々の活動に欠かせない福祉車輛。はるかぜには、メンテナンス・修理を繰り返しながら、がんばれ！がんばれ！と励まし続けてきた車が2台ありました。

そろそろ引退の 때가近づいている為、長年社会貢献活動をされている日本財団に申請すること3回。

この度、ようやく1台の助成を受けることができ、日本財団の支援活動の一つ“笑顔運ぶ「乗りもの」”として新しい送迎車輛がやってきました！

カラフルな新デザインが眩しい、ピッカピカのホンダステップワゴン8人乗りです！（感激！）

一番喜ばれたのが、もちろん利用者の皆さんで、誰が乗るのか、いつ乗れるのか、質問攻めでした。後部サイドのドアが開くと、足元にステップが自動で出てきて、なお感激！皆さんが乗り降りしやすく安心です。

初乗りの夕方は、車のデザインにある「笑顔」が、送り出す利用者の方々の笑顔に見えました。

さてさて、残すはもう1台のリフト付きハイエース。こちらは車いすをされる方に欠かせない送迎車。

こちらの方も、満身創痍で走っている為、なんとかしたかったのですが、日本財団からは今回はステップワゴン1台だけとの通知を受け、無念。

そんなところに……。

2. 春日市社会福祉協議会から……

日頃から大変お世話になっている春日市社会福祉協議会の職員さんから、「福祉車輛の寄贈についてお話があります」と、1本のお電話が入りました。

春日市社会福祉協議会がおこなっている事業に使っていた車輛を2台、寄贈を検討されているとのこと、出された条件が ①春日市における社会福祉法人格をもつ団体であること ②過去に日本財団からの助成を受けたことがある団体であること。①については、昨年4月に事業移管したばかり。②については、つい先日ステップワゴンが届いたばかり。なんと、2つの条件クリア！！

さっそく具体的にお話が進められ、リフト付き日産キャラバン1台。トヨタハイエース（10人乗り）1台をいただけることになりました！（感激！）思いがけない贈り物で、車いすをされる利用者さんの安全も確保でき、活動時の移動手段も確保でき、ひと安心です。

先日（3月10日）、前ドアにはるかぜのロゴマークをつけた車2台が届きました！

春日市社会福祉協議会様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



活動報告 その2

2月のレクリエーションは、工場見学でした

利用者の皆さんの楽しみの一つであるレクリエーション。

今回は、コカ・コーラウエストプロダクツ株式会社基山工場の工場見学でした。

月初めに利用者の皆さんには予定をお知らせしていますので、だんだんと日が近まってくると、皆さんの話題はレクリエーションに関することが多く、「お昼ごはんは何を食べる?」「バスに乗る?」「誰と同じ班?」「一緒にたべよう~」と、ワクワク感がこちらにも伝わってきます。

今回も、工場見学に入る前にイオンモール筑紫野フードコートでお食事を済ませてからになりました。

このお食事の時間も貴重な社会体験（生活訓練）の時間となっており、他のお客様の列に並び順番を待つ、番号が呼ばれるまで待つ、たくさんのメニューから選ぶ…等々。一人ひとりご自分で食べたいと思うものを予算の中で選び、注文をして代金を払います。

勿論、食べた後の片付けも自分たちでできる限りおこないます。

筑紫野イオンフードコートには、周辺整備のスタッフの方々が配置されていますが、スタッフの方は利用者さんが片付けを行っている時は、すぐにはお手伝いされず、そっと見守ってくださるのでとてもありがたい環境です。



基山のコカ・コーラウエストプロダクツ工場では、記念撮影の後、「コーラの色は何色ですか?」「アルミ缶の作業をしています。

コカ・コーラ製品の缶をアルミ缶に替えて下さい」など、しっかり質問や意見を出されていました。

生活の身近で見る清涼飲料水が作られている所を楽しく学べ、お土産を手に満足な一日になりました。

避難訓練 おこないました

3月2日（月）午後からの「仲間の会議」の時間の中で、今年度の「避難訓練」をおこないました。

防災担当職員より、事前に避難の仕方「お・は・し」について説明を受け、「お・押さない。は・走らない。し・喋らない」を皆さんと確認をした後、菓子製造室より出火したことを想定し、利用者さん・職員3グループに分かれ、それぞれ活動場所に近い出入り口から避難をしました。みなさん職員の誘導に戸惑うことなく避難ができ、予定していたタイムより短い時間で外に出ることができました。

今回は、火災を想定しましたが、忘れてはいけないあの福岡西方沖地震から10年です。いつどんな時でも冷静に避難ができるよう、日頃から備える必要をあらためて感じました。

健康診断 実施いたしました

利用者さん、職員の健康管理に欠かせない定期集団健康診断を3月12日（木）午前～ 福岡労働衛生研究所（福岡市南区）にて実施いたしました。

事前に問診票と採尿器をお渡ししておりましたので、所定の場所に職員が配置、利用者さんを誘導することで当日はスムーズに測定からスタートできました。

利用者のみなさんは、多少緊張した表情でしたが、毎年おこなっている場所でスタッフの方々も慣れてあり、一番の難関「採血」も皆さん落ち着いて頑張っていました（若干2名の涙あり…）

職員の健康診断については、別途日程を定めて実施いたしております。

利用者の皆さんが元気で活動できるよう、まずは職員の日々の体調管理に気をつけたいと思います。

—自分らしく生きるリハビリ「効果」の評価—

今回の介護保険改正では、質の高い訪問リハビリを提供する事業所には介護報酬が加算される。

その内容はリハビリ利用者の生活機能がより向上し、社会参加を維持できる他のサービス等に移行できるなど。★この社会参加メニューの一つに「地域や家庭での役割や生きがいなどの創出」とあるが、具体性に乏しく、また、利用者には心身の個人差があるので、リハビリ「効果」の評価は戸惑いが予想される。これは、以前、高校・大学入試に採用された「受験生のボランティア活動の評価」と同様。★心身が弱くなり、生活しづらくなった状態でも、その人の命・存在そのものが社会参加である。

それを利用者が自覚したとき、リハビリの理念である単なる機能回復ではなく、「人間らしく生きる権利の回復」「自分らしく生きること」「自己実現と自律」につながる。 (まつおしげる)

ありがとうございました！！

※福岡県共同募金会春日市支会を通じ多くの方から寄せられた赤い羽根共同募金の配分金をいただきました。

※ご寄付 まりも工芸 様

※春節に、ファミリーマート下白水南店様から恵方巻の贈り物をいただきました。

※ボランティアセンターを通じてミキサーの寄贈がありました。

※ボランティアの小城様より、絵本の寄贈がありました。

※ボランティアの平川様より、新しいタオルの寄贈がありました。



QQcake とは……。フランス語でパウンドケーキを「カトル・カール(Quatre-Quarts)」と言い、頭文字の**QQ**をとって名付けました

① モカ・マーブル
ほろ苦いコーヒー生地と粒チョコ生地が絶妙なハーモニーです。

② イチジク&アーモンド
不老長寿の果実ともいわれるイチジクが入っています。軽い甘さは女性の方にピッタリ！



③ ジンジャー
生姜の香りがする生地にクルミとレーズンが入っています。

④ 抹茶
甘さをひかえ、しっとりとした生地には、ほどよく抹茶の香りが広がります。